

平成28年9月2日

三木市議会  
議長 初田 稔 様

総務環境常任委員会  
委員長 穂積 豊彦

行政視察報告書

下記のとおり委員会行政視察を実施いたしましたので、会議規則第107条の規定により報告します。

記

1. 参加者

穂積豊彦（委員長）、内藤博史（副委員長）、大眉均、  
草間透、古田寛明、岸本和也、藤本幸作、加岳井茂 計8名

2. 視察内容等

日 時		場 所	内容及び対応者
7月20日	14:30 ～16:00	千葉県 佐倉市	ファシリティマネジメント（公共施設等総合管理計画） （対応者） 資産管理経営室長 増澤文夫 資産管理経営室主任主事 飯塚宣夫 議会事務局 村上一郎
7月21日	9:30 ～11:00	千葉県 船橋市	保育士の処遇改善に関する取組 （対応者） 教育委員会保育認定課長 丹野誠 保育認定課課長補佐 真子和宏 保育認定課係長 市川智久 議会事務局庶務課係長 佐藤友美 議会事務局庶務課主事 廣田陽平 議会事務局庶務課主事 杉山達朗
	13:30 ～15:00	埼玉県 川越市	産官学連携による公共施設等総合管理計画 （対応者） 総合政策部社会資本マネジメント課長 佐藤利貞 社会資本マネジメント課副課長 戸田貴之 議会事務局議事課主査 関俊一郎
7月22日	9:45 ～11:45	埼玉県 日高市	ごみ資源化処理の民間委託 （対応者） 市民生活部環境課長 小鹿野高光 生活環境課廃棄物対策担当主幹 大沢雅之 太平洋セメント(株)埼玉工場業務部長 妹尾圭二 太平洋セメント(株)埼玉工場業務部総務課課長代理 横手三好 議会事務局次長 相磯剛啓

### 3. 事前質問

#### 船橋市

- 1 統計・データ（過去数年分）
  - ・待機児童数
  - ・不足している保育士数
  - ・公立園における保育士の正規・非正規の内訳
- 2 必要な保育士をどのようにして確保しようとしているのか（方針、計画等）
- 3 各種支援策（修学資金貸付、給与の上乗せ、家賃補助等）の内容と周知方法
- 4 各種支援策の実績
- 5 運営形態別の施設数（公立公営、公立民営、民立民営、指定管理等々）
- 6 民間園と公立園の保育士の給与格差の状況と格差是正の取組
- 7 今後の課題

#### 川越市

- 1 産官学連携に至った経緯と内容
- 2 公共施設マネジメント白書との関連
- 3 市民アンケートの実施について（目的、内容、結果等）
- 4 市民とのワークショップ
- 5 地元企業に対する講演会、アンケートの実施について（目的、内容、結果等）
- 6 今後の方針（市民への周知、公共施設の統廃合等）と課題

#### 日高市

- 1 民間委託に至った経緯
- 2 民間委託を検討するにあたって、他の手法（直営、近隣市と共同での広域処理等）も検討されたのか。  
また、それぞれの手法のメリット、デメリットはどのようなものだったのか。
- 3 検討を行った研究会で出た主な意見や議論になった案件。
- 4 民間委託に当たって市民から反対の声はなかったのか。  
また、反対の声に対する対応。
- 5 今後の課題

#### 4. 所感

##### (1) 公共施設等総合管理計画について（佐倉市、川越市）

中長期的な視点からの公共施設の管理運営が必要であり、個々の施設の有効活用を検討するとともに、単に建物の老朽化のみをもって判断するのではなく、施設の費用対効果を優先的に考えることが重要である。また、学校施設においては少子化に伴い、統廃合あるいは校区の見直しをする中で、新たな形での施設利用も今後検討する必要があると感じた。

そのためには検討委員会を設置して個別に施設の分析を行ったり、例えば図書館で本1冊を借りるのにいくらコストがかかっているのかを数値化するなど、行政サービスにどれだけのコストがかかっているのかを市民に具体的に示し、今後の公共施設のあり方を共に考えてもらうことが重要である。

##### (2) 保育士の処遇改善に関する取組（船橋市）

保育士確保のためには、給与のアップや市内の保育園で保育士として勤務することを条件とした修学資金の貸付、市内の私立園等が勤務する保育士のためにアパート等を借り上げた場合の家賃補助といった各種補助金制度の創設は必要なことではあるが、近隣自治体と金銭面での競争に陥りやすい懸念があり、それが今後の課題であるとのことだった。

保育士を取り巻く労働環境は厳しい状況にあり、処遇改善というのは単に金銭面にとどまらず、保育士自身の生活や健康を守るための支援も必要であると感じた。

##### (3) ごみ資源化処理の民間委託（日高市）

可燃ごみに加え、プラスチック類、ガラス等のごみもセメントの原料・燃料になるのでごみの分別が軽減され、また、焼却灰そのものも原料等になるので最終処分に頭を悩ますこともなく、高温で燃焼させるためダイオキシンの発生も抑制されるなど、民間事業者と行政との一つの理想的な協働関係を築けていると感じた。

三木市も今後、民間委託を検討していくにあたって、市民への説明会の進め方等、いろいろと参考になった。今後市民と一緒にあってごみ処理のあり方、資源の再利用について考えていくことが重要であると感じた。